

# 躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人  
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL:042-843-0075 発行人:久保 文剛

FAX:042-843-0076 編集人:佐々木憲彦



谷口雅春先生から授けられた人類の聖典『生命の實相』を毎日拝読しよう!!

## 《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

### 必ず成功する秘訣

いかなる職業に従事する(をしごと)人でも、また如何なる境遇にいる人でも、必ず成功する唯一の秘訣(ひみつ)と云うものがある。その秘訣とは、敬虔なる(つしみなかいらい)感謝と快き微笑(のほほ)をもつて深切(しんせつ)を尽すと云うことである。万事万物に感謝し、微笑をもつて、自分の接する総ての人々に深切をつくすと云うことである。

今まで何の職業についても成功しなかった人は、自己の過去を振り返って見れば、深切と微笑と感謝をもつて奉仕する精神がなくて、不平面(ふへいづら)をして苦虫(にがむし)をかみつぶしたような顔をして、仕事を易々(いいか)減(げん)にして深切心がなかったと云うことに気がつかれるに相違ないのである。

仕事を深切にしても、不平面や、苦虫を咬みつぶしたような顔をしていては、その仕事の出来栄えほどには出世(しゅつせ)することは出来ないであろう。

(新装新版『真理』第2巻98頁)

## 『生命の實相』は

無限の宝を発見する道標

理事 國弘 昭義

本年正月に発生した能登半島地震により「日本航空高校石川」と「日本航空大学」は甚大な被害を被りました。校舎が使えなくなり、高校生60名と大学生20名の学業を継続するため、両校は5月より石川県輪島市から東京都青梅市にある「明星大学青梅キャンパス」跡地に移転しました。

6月初旬、移転したばかりの青梅の地に浅川正人学長を訪ねました。広大な敷地に、学生・生徒の生活する仮設住宅が整備され、実習棟や教室が建ち並び、敷地内を移動する生徒さん達は皆、私と出会うと姿勢を正して大きな声で「こんにちは」と一礼して行きます。その気持ちよい挨拶は、礼節を大切にして学業に励むよき校風を物語るものでした。

見学を終え、理事長室に案内されて梅澤重雄理事長にお会いした時、更に大きな感動に打たれました。

梅澤先生は、静かな口調で「私の側にはいつも『生命の實相』があるんですよ」と仰り、何か考えることや課題があると、必ず『生命の實相』を手に取って紐解くと話されました。この度の能登半島地震で被災して校舎が使

えない大変な状況になった時も、やはり『生命の實相』を読まれたそうです。そして、ご自身も浅川先生もかつて学ばれた「明星大学」の青梅キャンパスが現在使われてないことを想い起こされ、小池都知事にも相談され、校舎やキャンパスを無償で貸与してもらえるところになったと話しておられました。

尊師は、聖典の読誦と神想観が運命を開くとして、「聖典を読むのは、無限の宝が充ちている未知の世界に旅行するため旅行案内書を読んで、どこに行きどうしてその無限の宝を発見し得るかの手順を知らされるようなものである。神想観は、その案内書によって知った「未知の宝庫」に直接触れる途なのである。」(『人生の秘訣365章』285頁)と説かれています。

まさに、梅澤先生が『生命の實相』を手に取り読まれた時、被災した日本航空学園を継続するためのキャンパス(無限の宝)を発見し得る手順が示されたのではないだろうか。

さらに、梅澤先生から『生命の實相』はどうなっていますか?と聞かれました。私が、『生命の實相』の著作権は谷口雅春先生から「生長の家社会事業団」に託されており、「新たに新編『生命の實相』全65巻が今秋完成することになっております」とお伝えすると、大変お喜びになり「私がその全65巻を3セット注文します」と仰るのです。山梨校、札幌校、青梅キャンパスの石川校にそれぞれ置きたいとお申し出に、鳥肌が立つ程感動しました。

新編『生命の實相』全65巻完成の秋。人生の旅路に光を灯し無限の宝を発見する道標たる『生命の實相』を日々拝読し、接する全ての人々にお届けしたいと改めて決意した次第です。

# 第9回「谷口雅春先生報恩全国練成会」にご参加を!!

素晴らしい神癒の体験が回数多く生まれる「全国練成会」。その感動の一端をお伝えすべく、第8回全国練成会におけるゲスト講師の高倉俊治先生の「門出の言葉」の筆記を掲載させていただきます。来たる9月14日〜16日に開催される第9回全国練成会に、全国の都道府県からのご参加を心よりお待ちしております。

## 行じ続けたとき神癒の体験は生まれる

ゲスト講師（元 釧路、旭川、十勝、北見、山梨教区教化部長） 高倉 俊治

### 素直に信じて明るく行ずる



（写真は3日目 第6講話）

皆さんありがとうございます。3日間の練成会、本当にありがとうございました。素晴らしい練成会だったと思います。皆さんの先ほどの決意の言葉を聞きまして、大変嬉しく思いました。

私は、「素直に信じて明るく行ずる」と、この言葉を繰り返してまいりましたけれども、なぜこういう言葉をつくるようになったかと申しますと、私が十勝にいた時に、古い信徒の方から「是非、十勝の運動史を作ってください」と言われたんですね。でも資料も何もなかったから、古い信徒の方をずうっと取材して廻ったんです。そうしたらすごい体験がいっぱい出てきました。『生命の真相』を読んだだけで病気が治ったなんて話はさらにありました。病気が治ったり、色んな事例がたくさん出てきました。それで私、考えたわけです。それだっ

たら来だつたらうな昔の講師は。（笑声）「病気は無い」と言っただけで病気が治るんですよ。そんな話がたくさんある。その理由は時代背景が違うからです。というのは、昔はみんな信仰が当たり前だった。今はどうかといいますと、信仰を持つている人は、読売新聞の宗教調査によると大体23%ぐらいしかいません。四分の三は信仰を持っていない人です。そして戦後の唯物論教育の中で、谷口雅春先生はこれを「知恵の樹の果」と言われましてけど、「知恵の樹の果」を食べ過ぎてから、「人間神の子」とか、そういう教えが潜在意識にストレートに入って行かないということになる。昔の人は素直に信じたわけです。それからまた熱意が違います。例えば古い人に聞くと、「いやあ、誼友会に50名60名集まりました」と言うわけですよ。小さい村です。「どこから来たんですか？」って聞いたら、「隣村からも来ました」と言う。「隣村はどれくらい離れてるんですか？」って聞くと、「10kmか15km」って答える。「どうやって来たんですか？」って尋ねると、みんな「歩いて来た」と。（感嘆）求めるものが違

うわけです。だから素直さと熱意が違う。負けていると思っちゃたね。

### 行ずることの大切さ

では、今は体験が出ないのかということそんなことはない。今体験が出てくる人というのは、先ほど言ったように、行じ続けた人の中から体験が出てくるんですね。それで私は「行ずる」ということを強調し始めたわけです。そうしたら、1歳半の子供さんの心臓に二カ所穴が開いていると言って個人指導に見えた方がありました。その方は生長の家をまだ知らないわけです。それで生長の家には「甘露の法雨」というのがあるから、この「甘露の法雨」を枕元で、とにかく子供さんを祝福するような気持ちで毎日誦めてくださいと言ったら、ご夫婦ですうっと一カ月誦げ続けたわけです。そうして一カ月後に札幌から専門の医者が来て再検査をしたところ、その心臓の二カ所の穴が完全に消えておったというわけです。（拍手）

あるいは肝臓癌で、10cm×7cmの癌があった人が生長の家にやって来まして、練成会を受けたり行じ続けたとき、一年後にそれが完全に全部消えてしまったという体験もありました。（拍手）これも夫婦ですうっと行じ続けたということなんです。ですからやっぱり行ずることが一番大事なんだということを私は強調するわけです。

### 私達の命は神様の命

#### 永遠生き通しの命である

私がよく話すことですけど、こういう

話があります。

雨乞いの達人がいたと。その人が祈ると必ず雨が降るといふわけです。それである人が尋ねた。「その雨乞いの祈りの秘訣は何ですか？」って。そうしたらその人はこう言ったと。「雨は必ず降る。雨が降るまで祈り続けることだ」って。（笑声）

笑い話みたいな話ですけど、これは真理です。祈り続ける。大体普通の人は諦めるんです。諦めないですうっと祈り続けるということが大事だということです。ね。

ただ、そういう色々お陰を求めるといふのは本筋ではない。それよりももっと、私たちの命は神様の命であって、永遠生き通しの命であるということを知ること。それを人に伝えるということが大事だと思えます。

ですからどうぞこの真理を多くの人にこれからも伝えていただいて、この全国練成会にもたくさんの人を誘ってご参加いただきたいと思えます。3日間本当にありがとうございました。（拍手）

（令和6年6月2日、第8回全国練成会 閉会式における「門出の言葉」の筆記）

## 第9回全国練成会のご案内

9月14日（土）〜16日（月・祝）

最高の講師が勢揃い、是非ご参加を！

《ゲスト講師》

安東 巖 先生・高倉俊治先生

《講師》久保文剛・熊本司・上野耕治

國弘昭義・岡村佳明・木下千鶴子・井関隆文

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

# 秋のお彼岸には多くの霊牌を供養し

## 一家繁栄の基を築きましょう!!

生長の家独特のお祀りである「霊牌供養」は、「霊牌」という所定の紙にご先祖の方々の名前を書き、聖経『甘露の法雨』で供養するものです。これによつて家庭が調和したり、病が癒やされたり、子供が素晴らしくなったりと、幸福な運命へと導かれた体験は数限りなくあります。秋のお彼岸を迎えるにあたり、供養もれのないよう真心をこめて霊牌供養をいたしましょう。きつとみたま様の感謝の思いが、家庭の幸福となって返ってくることを祈ります。

### ご先祖様の日々のお護りに

#### 感謝を深めましょう

熊本 司(第6回)

#### お彼岸の意義について

もうすぐ秋のお彼岸がやってまいります。お彼岸は仏教用語で煩惱(ぼんぷう)を脱して悟りの境地に達するという意味だそうです。季節的には春分、秋分の日を中日として、前後それぞれ三日間を合わせた七日間をお彼岸といひます。仏教徒の多い日本人は、この季節にお墓参りをする風習があります。勿論キリスト教やその他の宗教の方も、お彼岸に関係なくお参りをされていると思ひます。日本人の風習として、春秋のお彼岸の季節には、よくお墓参りをするものです。

さて、どうしてお墓参りをするのか。ご先祖様のお骨は墓の下に埋葬されているようにみえても、常に私達家族を護つて下さっています。私達の心はそのことを直観的に感じていて、そのご恩に感謝する表現としてお墓参りをするものです。そのお気持ちの強い方は毎月でもお参りして、お墓を掃除しておられる方もいらっしゃいます。

#### 父母、先祖への感謝が信仰の根本

生長の家創始者谷口雅春先生のご文章に、ある信徒が強度の顔面神経痛になつて苦しんでいたところ、あなたは先祖供養をして

いない。先祖に感謝しなさいと諭されて、お墓参りをしたら、その顔面神経痛が癒やされたと言われています。



全国練成会における先祖供養祭

生長の家の「大調和の神示」に、「神に感謝しても父母に感謝し得ない者は神の心になかなわぬ」とありますが、神を信じているといつても、自分の父母、ご先祖様に感謝してないと、信仰の根本が間違つていくことになりまふ。

谷口雅春先生は、『生命の真相』において「諸君も悟ろうと思ひ、又はこの世で成功しようと思ふには祖先の礼拝を鄭重にしおのずから祖先の加護を受けるようにせねばなりません」(新編『生命の真相』第52巻38頁)と、ご自身の絶体絶命の体験をもとに、私達を導いておられます。

夏のお盆はご先祖様が家庭にやつて来られるといひますが、春秋のお彼岸は、日々私達を護つて下さつておられるご先祖様への感謝を表現するために、こちらからお墓などに行くということなのです。

日々の生活に追われ、ともすれば、ご先祖様が私達を護つて下さつておられることを忘れがちになりますが、もうすぐやつてくるお彼岸を機会に、ご先祖様への感謝を深めてまいりましょう。

## 児童養護施設「生長の家神の国寮」——更なる充実と社会貢献へ

### 谷口雅春先生の教育理念を学ぶ職員研修を開催

七月二日、児童養護施設生長の家神の国寮の職員対象の理念研修に、浅川正人先生(日本航空学園理事・日本航空大学校長)をお招きし、谷口雅春先生創始の「生命の教育」についてご講演いただきました。日本航空高校の教員として、日本航空高校石川校の校長として、生徒や教職員に『生命の真相』の真理を真正面から説かれてきた教育実践の数々は、職員心に強く響き、多くの感動と示唆を与えていただきました。

先生は、子供達を「神の子」と信じ礼拝すること、天分を引き出す愛語と讃嘆のコトバの力、更には天皇陛下を中心に世界で最も長く尊い歴史をもつ日本の国柄の素晴らしさについて、豊富な指導体験を紹介されながらユーモアを交

えて熱烈に語られました。とりわけ、お正月に発生した能登半島地震を乗り越え、春の甲子園出場を成し遂げた野球部員全員が聖経『甘露の法雨』のお守り身に付けて、「やれば出来る!必ず出来る!」を合い言葉に活躍したエピソードは心に染みまふ。

講演後のグループディスカッションでは、「子供に宿る天分を礼拝する」ことは「あなたは愛される存在である」と信じて支援していくことだと思つた」「子供の課題ばかり観るのではなく、長所や美点を見つけて讃嘆していきたい」等の意見が出され、自分たちが働いている施設にも日本の国にも誇りを持つことが出来たとの感想も寄せられました。

(生長の家神の国寮施設長 國弘昭義)

「生長の家神の国寮」は、谷口雅春先生のご大愛によつて昭和20年9月、焼け野が原となつた東京・赤坂の地に創設されました。その後昭和41年に国立市に移設され、国立市唯一の児童養護施設として多くの子ども達の養育に当たつてまいりました。

当施設には現在、様々な理由で親子分離を余儀なくされた3歳から19歳までの子ども達48名が入所しており、職員が交代で24時間365日寄り添い生活をともにしています。



浅川正人日本航空大学校長による講演(谷口雅春先生報恩全国練成道場において)

【税務上の特典】生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置（税額控除等）の対象となります。

五つの事業を支える奉讀者619名御芳名

これまでご献資下さった方々の御芳名を謹んで掲載し、深甚の感謝を捧げさせていただきます。

生長の家のみ教えを正しく護り伝えるために！！

1口 33 万円の特別献資に

ご協力ください！！（分割も可）

＜当事業団が行っている五つの創立記念事業＞

- ① 聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
- ② 谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
- ③ 「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
- ④ 「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
- ⑤ 「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から79年前の昭和20年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。そして、これら施策の遂行をなすとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。このことは聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様にご寄付の協力を仰ぐ次第です。

（同封のご寄付の申込用紙をご参照ください）

「谷口雅春先生記念図書資料館」行事案内

◇ 神示祭 (11時～11時20分)  
9月2日、5日、27日、28日  
図書資料館屋上、龍宮住吉本宮社殿にて

◇ 『真理』勉強会  
9月7日(土)、10月5日(土)  
毎月第1土曜日 13時半～15時半  
指導：熊本司講師 (元本部講師)  
≡ト：新装新版『真理』第9・10巻



大調和の神示祭  
(龍宮住吉本宮社殿)

◇ 『生命の實相』輪読会 (毎月22日 13時半～15時半)  
9月22日(日)、10月22日(火)  
指導：久保文剛講師 (元本部講師)  
新編第16・17巻 (頭注版第9・10巻) 霊界篇

◇ 定期一般開館日 (原則第1・3木曜日 11時～15時)  
9月5日・19日、10月3日・17日

◇ 古事記神話紙芝居実践勉強会 (13時半～15時半)  
9月8日(日)、10月13日(日)

読者の皆様から寄せられた「よろこびの体験」

○ 結婚10年目にして娘が子宝に恵まれました！！

2年前の12月、千葉県で開催された「生長の家教義実践講座」に、なぜか絶対に参加したいという気持ちが湧き参加しました。講座もちろん素晴らしかったのですが、社会事業団の使命と「特別献資」の意義を知り献資を申し込みました。神様からの見返りを求めていたわけではなかったのですが、献資を申し込んだすぐ、10年間子宝に恵まれなかった娘に神の子さんが授かり、昨年秋無事生まれてくれました。講座に参加したことも、献資を申し込んだことも、全てのタイミングが良かったのだと思います。娘夫婦は年齢的に落ち着いていることもあり、丁寧に子育てをしていて、今はその様子を安心して見守っています。(岡山県・出口幸恵)

感想をお寄せください！！

「躍進する生長の家社会事業団」をお読みいただいた感想や喜びの体験等を、FAX又は郵便でお寄せください。お待ちしております。

住吉大神の祝福燦々と降り注ぎ給う  
「神癒・聖經供養」祈願  
問題解決、神癒の体験続々と！

神様の祝福に包まれた幸福人生を招く  
「聖使命奉讃会」(月額一口1,000円)  
にご入会ください。

9月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(日)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半～	道場
2(月)	實相金剛身の神示祭	11時～	社殿
5(木)	生死の教の神示祭	11時～	社殿
7(土)	『真理』勉強会(熊本司講師)	13時半～	図書館
14(土) 16(祝)	第9回谷口雅春先生報恩 全国練成会	開会12時45分 閉会15時半	道場
15(日)	靈魂進化の神示祭	11時～	道場
22(日)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時～ 13時半～	社殿 図書館
27(金)	大調和の神示祭	11時～	社殿
28(土)	最後の審判、に就いての神示祭	11時～	社殿

10月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(火)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半～	道場
5(土)	『真理』勉強会(熊本司講師)	13時半～	図書館
20(日)	書籍奉還 先祖供養祭	11時～	道場
22(火)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時～ 13時半～	社殿 図書館

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の龍宮住吉本宮社殿です。どなたでも自由に参加できます。

生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しいみ教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

生長の家社会事業団の  
公式ホームページのご案内

スマートフォンをかざして下のQRコードを読み取っていただきますと、生長の家社会事業団の公式ホームページが表示されます。

本機関紙のバックナンバー、主催行事・後援行事のご案内、情報公開等を掲載しています。どうぞご覧ください。



過去の経験によって自分自身の将来を縛ってはならないのである。例えば過去に身体が虚弱であったからとて、今後も虚弱であるに相異なると思える必要はないのである。(新編『生命の實相』第61巻幸福篇33頁)